

**ユニセフ（国際連合児童基金）**は、子どもたちの命と健康を守るために、世界150以上の国と地域で活動する国連機関です。世界のすべての子どもたちが、十分なケアを受けながら心身ともに健やかに成長できるよう、保健、栄養、水と衛生、教育などの支援事業を行っています。迅速な緊急支援活動も重要な活動です。

1. 子どもの命と成長、そして未来を守る・・・主に予防可能な原因で命を失う5歳未満の子ども、年間590万人
2. すべての子どもに教育を・・・・・・・・・・初等教育さえ受けられない子ども、5,700万人
3. エイズと闘う・・・・・・・・・・エイズで親を亡くした子ども、1,770万人
4. 暴力、搾取、虐待から子どもを守る・・・厳しい労働に苦しむ子ども、1億6,800万人
5. 子どもの権利を実現するための政策の実現やパートナーシップの構築・・・各国政府への働きかけを行います



### マリールイズさんからのメッセージ・・・・・・・・

私はルワンダの内戦という辛く悲しい体験の中から命の尊さ、平和の大切さを、身をもって学びました。ウムチョムウイーザ学園は、戦争で心身ともに傷ついたルワンダの子どもたちに、教室で学びながら、夢を取り戻してほしいという願いのもとに、幼稚園・小学校をルワンダのキガリに建設しました。現地ルワンダでは、義兄チャールズが中心となり、「ADESOC」というNGOを発足させ、当学園の建設と運営を担当しております。本会は「ADESOC」とともに、さまざまな教育支援活動をしております。本会の応援をしていただきながら、平和な日本にいる皆さんが出来る社会貢献とは何かを考えるきっかけにいただければありがたいです。貧しい子どもたちの夢の実現までには、継続した支援が必要です。子どもたちの成長を見守ってください。

皆さまのご理解とご協力をお願いします。

昨年のユニセフのつどいで、NPO法人地球のステージ代表の桑山紀彦さんと「いのちの対談」を行いました。とても短い時間でしたので、もっとたくさんのお話しをお聞きしたいという要望がありました。流暢できれいな日本語



を話されるマリールイズさんです。今年もルワンダのコーヒーと紅茶の販売を行います。乞う、ご期待！

### ～ マリールイズさん プロフィール ～

トワリ

永遠瑠・マリールイズ NPO法人ルワンダの教育を考える会理事長

※2013年秋、日本に帰化。“永遠にルワンダを忘れない”の意を込めて姓をトワリとする。1965年10月、ルワンダ人の父親の赴任先であるコンゴ民主共和国（旧ザイル）に生まれる。1986年9月、キガリ市の専門学校に洋裁の教師として赴任。1993年5月、青年海外協力隊カウンターパートナー（現地協力員）として福島文化学園にて洋裁の研修を受ける。1994年2月、帰国。同年4月7日、内戦勃発、必死の逃亡を経て隣国コンゴ民主共和国へ。難民キャンプで偶然出会ったアムダの日本人医師の通訳になる。同年12月、研修生時代の友人らの尽力で家族揃って再来日。2000年10月、「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、キガリ市に学校を建設。2001年8月、同会がNPO法人格を取得。2010年6月、同会理事長に就任。命の尊さ、教育の大切さを訴える講演活動で全国を駆け回っている。2011年3月、在住する福島で震災、原発事故を経験。以後、南相馬市など避難所・仮設住宅でボランティア活動も行っている。

お申し込みはファックス・電話・メールにてお願いします。

定員になり次第締め切ります。

お申し込みの受付後に、「参加券」をお送りいたしますので、当日会場にお持ちください。

◆E-mail アドレス：sn.municef\_miyagi@todock.jp

◆電話：022-218-5358 080-5849-6072

開催会場は.....

仙台市福祉プラザ ふれあいホール（300名）

仙台市青葉区五橋 2-12-2 Tel 022-213-6237

地下鉄南北線「五橋駅」南1番出口より徒歩3分

◆◆◆ 公共交通機関でおいでください ◆◆◆

**5/28 ユニセフのつどい 2016 参加申し込み FAX 022-218-3663**

お名前 \_\_\_\_\_

参加人数 \_\_\_\_\_ 名

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

電話・Fax \_\_\_\_\_

切り離さずこのままファックス送信してください

ご記入の情報は「ユニセフのつどい」参加者把握のためにのみ使用します